

# 未来の子ども達のために 抗菌薬(=抗生物質)を残そう！

国立成育医療研究センター インфекションコントロールチーム

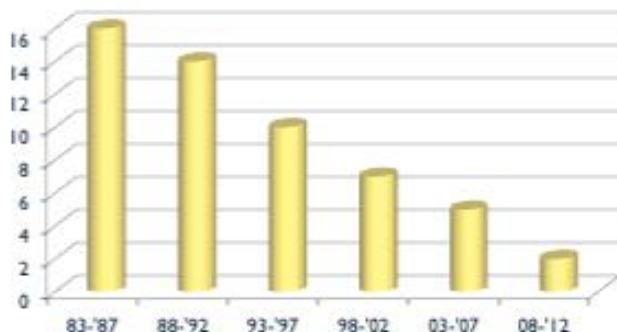
日本を含めて世界中で抗菌薬が効かない菌(耐性菌)が増えています！！

このままだと・・・

耐性菌(抗菌薬がきかない細菌)による死亡者数が2050年には  
悪性腫瘍を超えなんと1000万人に・・・



新しい抗菌薬の開発は年々減っている・・・



↑アメリカで新しく抗菌薬を承認された数

抗菌薬ってなに？



細菌が増えるのを抑えたり、殺したりする働きのあるお薬の総称  
抗生剤とも抗生物質とも言われます。

耐性菌ってなに？



特定の種類の抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることを  
「薬剤耐性」といいます。耐性を獲得した細菌のことをいいます。

2016年4月政府が耐性菌を減らすために、行動計画をたてました(2020年までに)

目標1：全体の抗菌薬使用量を**33%**減らします

目標2：内服抗菌薬を**50%**減らします

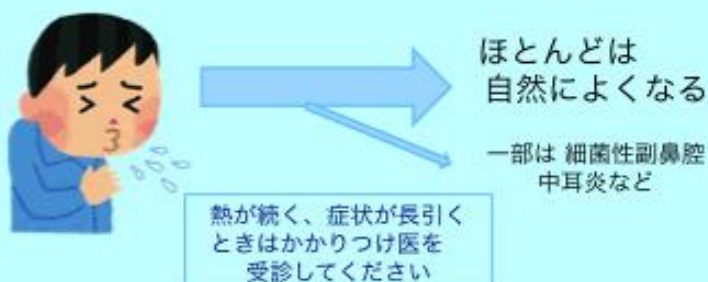
実は、抗菌薬の使用の約90%が内服処方され、風邪の6割に抗菌薬が処方されています。  
しかし、風邪の90%近くがウイルスによるものと言われています。

そこで、抗菌薬を正しく使うためにお伝えしたいこと！

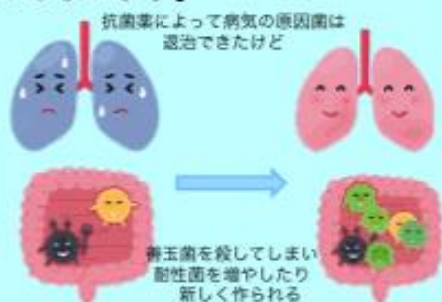
① ウイルスによる「風邪」  
に対して抗菌薬は無効で  
有害な可能性があります。



④ ウイルスによる「風邪」であっても、一部は抗菌薬  
が必要になる細菌感染症に進展する場合があります。  
医師による見極めが重要です。



② 抗菌薬が必要となるこどもに多い感染症のほとんどは最もシンプルな抗菌薬で治療可能なことが多いです。いろいろな菌を殺してしまう抗菌薬は腸内細菌を乱し耐性菌を増やしてしまいます。



③ 予防が大事です



今、私たちにできること！

- 1 風邪(ウイルスによる)には抗菌薬が効かないことを知ろう
- 2 手洗いでしっかり風邪を予防しよう！
- 3 ワクチンをしっかり接種しよう
- 4 抗菌薬は処方されたときだけ服用しよう